



聖徒のための情報誌

今月号の内容

第四十八回全国結集身延大会
御礼・報告・フォトアルバム
参加聖徒インタビュー(1・2面)
日蓮大聖人の歩まれた道
よろこびちゃんの質問箱
法華経のお話(3面)
よろこび法話(4面)

平成25年(2013年)7月1日(月)
7月号

発行所
〒101-0051
東京都千代田区神田神保町3-25-11
九段中央ビル702
日蓮宗霊断師会九段事務所
電話 03-6272-9340
FAX 03-6272-9341

日蓮宗霊断師会

会長 新聞 智雄
編集人 松本 恵昌
購読料 1部 105円
毎月1回1日発行

日蓮宗霊断師会ホームページ
http://www.yorokobi-reidanshikai.jp
よろこび投稿メール
yorokobi@yorokobi-reidanshikai.jp

第四十八回
日蓮宗霊断師会
全国結集身延大会開催御礼



天野行淳組織委員長

合掌
去る五月十一日、十二日に開催
されました日蓮宗霊断師会第四十
八回『全国結集身延大会』は、五
十六聖徒団、四百五十名の地涌の
菩薩が結集し無事奉行することが

できました。これもひとえに参加
者の皆様、引率参加くださいまし
た団長上人、殊には総本山身延山
久遠寺、山内宿坊、身延山観光協
会、身延山商店街、身延山竹炭組
合、身延山消防団の皆様、ほか関
係各位の変わらぬご支援、ご協力
の賜と厚く御礼申し上げます。
新緑の美しい身延のお山に聖な
る如来の使徒の唱えるお題目が響
き渡り、感動を覚える大会となり
ました。

「妙」の文字に形作られた燈火が
闇を照らし、創祖行道院日煌上人
はじめ日蓮宗霊断師会物故先師の
上人への増円妙道、千燈供養奉納
者の志す諸霊位、殊に東日本大震
災犠牲者に回向を捧げ、さらに所
願成就を祈念し、感動の修行とな
りました。

建光行副大会長の記念法話に
法悦の涙を浮かべ、さらなる信仰
を決意するものとなりました。
皆で祖師堂、御真骨堂さらに御
廟所と参拝し、大会を無事円成致
しました。

これからは、来る第四十九回全
国結集身延大会が素晴らしい大会
になりますよう準備にあたってま
いにります。明年、身延のお山でお
会い致しましょう。

結びに、法華経、お題目の広宣
流布、宗門興隆へと同じ思いを有
する全国各寺院のご隆昌、並びに
俱生神月守を着帯する皆様の信心
増進、所願満足を祈念し、大会報
告並びに御礼の挨拶と致します。
再拜
平成二十五年五月十三日
第四十八回全国結集身延大会
組織委員長 天野行淳



久遠寺大本堂前に集う聖徒の方々



建光行総局長「記念法話」



唱題修行「妙」のともしびと共に



身延山五重塔と聖徒の方々



千燈供養会



優秀聖徒代表・玉崎雅子さん
(龍妙寺聖徒団)



祖廟拝殿にて

津軽宇田山 閻法寺
毎朝 5時半より「朝勤祈禱会」
7月27日・28日
シーサイド in 寺子屋2013
〒030-1403
青森県東津軽郡外ヶ浜町平館元宇田52-2
TEL 0174-25-2712
住職 工藤 堯幸
副住職 工藤 堯慎・修徒 工藤 堯顯

妙正寺聖徒団 大平信江
旭川F.M.リールをクリック
7月8日(日)午前11時
さいじょういんまわらばまつたいさい
最上位経王大菩薩大祭
まつほ やつほうなんえん せいこうきやう
松葉ヶ谷法難会・ホウロク呪灸
毎月1日午前10時 盛運祈願会
妙正寺聖徒団 団長 関 龍雄
〒071-1423
北海道上川郡東川町東町2丁目6-3
TEL 0166(82)2714
FAX 0166(82)2914

いかされるよろこび
美濃乃國
常唱寺 聖徒団
〒501-3734
岐阜県美濃市千畝町2738-2
TEL/FAX 0575(33)1430

本山 妙顕寺
天目聖人御報恩
平成屋根等大改修
ご寄付募集中!
●郵便振替
口座番号 00180-6-267327
口座名義 妙顕寺建設委員会
〒327-0843 栃木県佐野市堀米町264
TEL 0283-22-1524
FAX 0283-22-4194
http://www.sano-myoukenji.jp

日蓮宗霊断師会会長
感通寺聖徒団団長
新聞 智雄
〒162-0044
東京都新宿区喜久井町39
TEL 03-3209-8782
FAX 03-3208-7966

日蓮宗霊断師会第四十八回『全国結集身延大会』特集



三浦恵伸善慶寺・龍王寺聖徒団団長と共に



阪口慈幸常唱寺聖徒団団長と共に



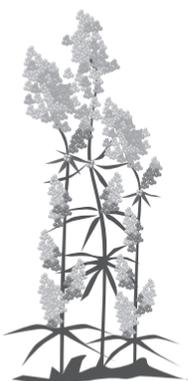
光枝浩生長栄寺聖徒団団長と共に



大会組織委員長 天野行淳上人
副委員長 大森映孝上人と共に

この大会にてお披露目となった、
新調された「日蓮宗霊断師会旗」。

新調した日蓮宗霊断師会旗



第四十八回全国結集身延大会も身延大会参加聖徒の皆様、引率の団長上人の皆様のご協力のお陰で大変素晴らしい大会と成りました。
参加の皆様も、参加叶わなかった皆様も、是非来年の第四十九回身延大会にてお会い致しましょう。

聖徒の声

「全国結集身延大会」に参加して

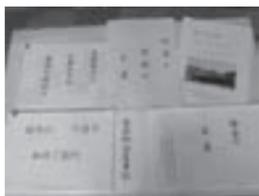


島根県
延福寺聖徒団
津田 健二

身延山に私が初めて参拝したのは、今から二十二年前でした。先代住職宣明上人から「ご両親の供養のために本山参りに参加しませんか。」と勧めていただいたのがきっかけでした。初めて参拝した身延山の光景と感動は、今でも忘れることが出来ません。

その感動を家族に伝えたところ、妻もぜひ参拝したいと言ってくれ、島根から二人で十二時間マイカーでの身延旅をさせていただきました。その後も参拝を重ね、今年は五月の連休に、念願だった子供、孫と一緒に家族八名でお参りし、朝のお勤めにも参加して、家族みんな「よろこび」と感動を分かち合うことが出来ました。また、五日後には第四十八回身延結集大会に三刀屋町妙法寺様と一緒に参加し、多くの聖徒団との交流も出来、大変感謝しております。私の菩提寺の出雲市延福寺の梅木功健上人は荒行二百日を成満さめ、全国を飛びまわりお題目を弘めるために活躍中です。私もご指導を受け、霊断師会本部へ二回の行道衆の修行に行かせていただきました。

その中で(一)毎日の生活に生かすこと、(二)聖徒のリーダーとなること、(三)報恩感謝の人であること、御題目の輪を弘げて下さい、講義を受けました。その思いを胸に、毎年一人でも多くの人に身延大会の感動を感じて頂きたく、参加の呼び掛けを実行しています。



津田さんが作った本山参りの資料

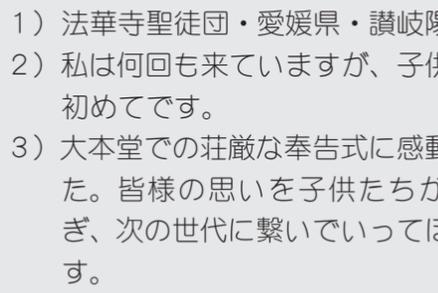
「全国結集身延大会」参加者インタビュー

下記の3点についてお聞きしました。

- 1) 聖徒団名・ご住所・お名前
- 2) 身延大会参加は何回目ですか？
- 3) 大会のご感想



- 1) 眞浄寺聖徒団・愛知県・建考史さん
- 2) 10回ぐらい。
- 3) いつ来ても、心が洗われます。唱題修行・千燈供養の「妙」の字が良かった。来年も是非参加したいです。



- 1) 法華寺聖徒団・愛媛県・讃岐陽子さん
- 2) 私は何回も来ていますが、子供たちは初めてです。
- 3) 大本堂での荘厳な奉告式に感動しました。皆様の思いを子供たちが受け継ぎ、次の世代に繋いでいってほしいです。



- 1) 眞浄寺聖徒団・福岡県・坂本アイ子さん
- 2) 何回も来ててよくわからんけど、20回ぐらい。
- 3) 大会に参加して、唱題修行して大本堂でお参りすると体調が良くなるんです。大会後には七面山にも登ります。

第二十五回 日蓮大聖人の歩まれた道

鎌倉での修学(その二)



総合研究所
教学研究部長
小泉 輝泰

「領家の尼ごぜんは女人なり、愚癡なれば人々のいひをぞ(嚇)せば、さこそとましまし候らめ。(中略)恩をかほ(蒙)らせたる人なれば、いかにしても後生をたすけたてまつらんとこそいのり候へ」(清澄寺大衆中)

さて、前回に引き続きまして、今しばらく寄り道にお付き合いいただきましよう。

蓮長の鎌倉遊学に際して、その路銀はいかにして用意できたのでしょうか。また、当時流行の最先端にあった鎌倉諸山の門を叩き、門前払いをされずに受け入れられるには、いかなる後ろ盾があったのでしょうか。よくよく考えれば不思議なことばかりですが、もちろん今となつてはその真相を探る手立てなど、残念ながらありません。

推測するに、まず金銭的な援助で思い浮かぶのは、領家の尼の存在でしょう。善日磨としてお生まれになってより、幼少期の生活と育成、清澄への入山と修学、そして此度の遊学と、おそらく大変な資金援助をしていたものと思われまます。

日蓮さまの檀越として知られる方々の中で、実は領家の尼さんは非常に信心弱く、ややもすれば退転をしようとする方でした。日蓮さまは、身延に在住の折に、ある日御前が氏神参詣のついでに「身延に立ち寄られたことを聞き、「佛と神と主従が逆ではないか」とお怒りになつて、お会いになりませんでした。それほど信仰に厳格であった日蓮さまですら、領家の尼だけはいかに信心弱くとも、最後までお救いになろうとされまます。それは領家の尼より受けた恩義の大きさを考えれば、とてもこの人を捨て置

けない」と思われたのではないのでしょうか。

ただし、領家の尼としてそれほど潤沢に資金援助を続けられたものとは思えません。当時の世情を考えますと、各地の領家の受領(朝廷より授けられた領地)は、幕府によって新たに設けられた地頭職の横暴によって常に脅かされていきました。それ故に、領家の尼は聡明な善日磨の後盾となつて、ゆくゆくは優秀な弁護人に育て上げる望みを持つていたとも言われています。

いづれにせよ、そのような厳しい状況下にあった後家尼には、それほど自由に使える財産があつたとは考えられません。また清澄寺以上の力を誇る諸山や学問所に、自由に出入りさせることのできる者となれば、やはりそれなりの権力者の存在が考えられます。



もしかすると、資金援助の面にしても、あるいは様々な場所での口添えにしても、まだまだ私たちの知らない方々の、密かな力添えがあつたのかもしれない。その真相はまた歴史の闇の中...と逃げたところで、此度の寄り道は終わりに致しまして。

よろこびちゃんの質問箱



よろこびちゃん

今回は東京都の感通寺聖徒団からの質問です。

『靈断ってなあに?』

お悟りを開かれた佛様は、過去・現在・未来のすべてを隈(くま)なく見通すことができるんだって。これを三明(さんみょう)といふのよ。こんなに凄い力があれば、私たちの日々の悩みもあっさり解決するわよね。

靈断とは、悟りなき私たち凡人が靈山浄土の寿命(じゆんじゆ)ご本佛様とアーク



お題目と俱生神様のお力を通して、ご本佛様のお力を授かること、私たちが様々な悩み疑いを断(こと)り断(こと)りして、正しい本當の信仰に入(い)って行けるのね。みなさんも、なにか悩みがあつたらお寺に行つて靈断を受けてみてね。きっと良い方向へ導いていただけるわよ。

法華經のお話 24



総合研究所主任

塩入 幹丈

無量義經の段その二十三

大轉輪王小轉輪王。金輪銀輪諸轉輪王。(無量義經德行品第一)

① 終わりよければ全てよし (シェイクスピア)

繰り返しますね。序品第一をプロローグとして始まった妙法蓮華經八卷二十八品(二十八章)は、続く方便品第二から授学無学人記品第九にわたつて、まずは印度におけるお釈迦様のお弟子さんたち(声聞)の最終的な救いが説かれます。これでお釈迦様が在世が総決算されます。

よつて次の法師品第十からは、お釈迦様ご入滅(お亡くなりになること)後の救い、なかなしく恐怖の末法時代における救いがテーマとなります。その救いの実行者、お釈迦様の遺志を受け継ぐものとして、ついに姿を



現されるのが、地湧の菩薩のグループなのです。地湧の菩薩様たちの登場によって、一気にクライマックスを迎えた本編は、如来神力品第二十一において、ご本佛様から地湧の菩薩方へお題目の委託がなされ、そして、囑累品第二十二における全聴衆への法華經の委託によつて、問題は全て解決とあいなります。そう、大事なことは二十二章にて解決したわけですが、変な話、実際ここで妙法蓮華經というお経はフィナーレを迎えてもよかつたはずなのです。

② まだだ、まだ終わらんよ (クワトロ・バジーナ大尉)

されど妙法蓮華經は、全二十八章にて成り立つお経。まだまだ残り六章も続きます。すなわち、葉王菩薩の前世の因縁を明かし、その功德を説く葉王菩薩本事品第二十三。忽然たるピジター、妙音菩薩の功德を説く妙音菩薩品第二十四。誰もが知つてゐる観音様の功德を説く觀世音菩薩普門品第二十五。葉王菩薩、勇施菩薩、毘沙門天王、持国天王、そして鬼子母神・十羅刹女がマントラを説く陀羅尼品第二十六。葉王菩薩、葉上菩薩、妙音菩薩の過去世での活躍を明かす妙莊嚴王本事品第二十七。遅れてきたスーパーバスター、普賢菩薩の功德を説く普賢菩薩勸発品第二十八。ざっくり見ただけでもお分かりでしょう、佛敎界を代表するスターたちが入れ替わり立ち代わり登場しては、その輝けるステータスが披露されていくわけですね。

法華經そのものよりも、まずこの菩薩様や神々の功德を前面にフィーチャーすることで、結果的にそのパツ

クグラントたる法華經の偉大さに結び付ける手法なんですね。第二十五章が觀音經として親しまれ、今多くの方に信仰されているのも、この全面フィーチャーの不成功が行き着いた結果といえます。



③ 大声は里耳に入らず (莊子)

なぜ末法の救いの道が補完された後で、スターたちの饗宴が展開されるのでしょうか。それは、一番大事なことは、そう簡単には理解されない(あるいは、されてはいけない)ということとです。地湧の菩薩こそは、数多の菩薩様たちの中で、最も偉大なる最高位の菩薩様たち。それは、法華經を読めば一目瞭然です。

されど皆さん、たとえば日本が誇る奈良や京の素晴らしい佛像の展示において、はたして上行菩薩像や淨行菩薩像を拝観された方はおられるでしょうか。シルクロードの番組にて、無辺行菩薩や安立行菩薩の遺品を見た方はおられるでしょうか...

そうです。以前にも申しましたように、佛像(とうざう)というか、ぶっちゃけ佛敎そのものの歴史において、地湧の菩薩方は、ずっと忘れられていたも同然の扱いだったのです。ご本佛お釈迦様に関しても同様です。

如来寿命品にああまであからさまに説かれているのに、「やっぱ、根源の佛様はビル遮那如来ですよ」といって、大日如来こそ、宇宙の根源でしょ、なんて言っている人たちがこそ、佛敎界の王道だったりするのです。

妙法蓮華經に説かれた大事な敎えは、実はずっとずっと無視同然、たっ

よろこび法話

継続は力なり

まことの信とは水の如くの信仰なり



日蓮宗靈断師会 伝道局 員
千葉県柏市 妙照寺聖徒団 團長
瀬川 観常

今の時代、「根性だ!」「努力だ!」「精進だ!」なんていう言葉は死語になってしまっているような気が致します。「継続は力なり」どころか、辛ければすぐに辞める、今の時代に仕事をさせてもらえる事に感謝するどころか、とにかく辞める。楽で自分の時間がとれて高給な仕事を親のスネをかじりながらゆとりく時間をかけて探す。色々な事情があるとは思いますが、「もう少し頑張ったら?」という人も多いのが現実だと思えます。

「日本昔ばなし」の中にこんなお話があります。

「和尚と山芋」

昔あるところに徳の高い和尚さんがおりました。絵や書に優れて、皆が掛け軸や、色紙を書いてもらいに来ておりました。

それを見ていた植木職人の弟子の「もくべい」という若者が「和尚さんがちよこつと書く絵や書を、なんでみんな有難がるんじやろう?」とぶつぶつ言いながらおりました。

親方が「こら、もくべい! さぼってばかりいないで仕事せんかあ〜!」と一喝。弟子の「もくべい」は「親方は樹の上から偉そうなことばかり言って、俺だけ骨の折れる仕事ばかりさせて、俺だって植木の剪定ぐらい出来るわ〜」と喋って和尚さんの大切な柘植の木を刈り込みはじめたものの、無残な形にしてしまいました。

和尚さんは「失敗は誰にでもあるもんじや、許してやりなさい」と取り成してくれましたが、親方は「こいつは弟子のくせに文句ばかり言って、楽することばかり考えてどうしようもないんじや」と、許してくれません。とうとうもくべいは「誰だって楽しんで金もうけしたいもんじや! こんな骨の折れる仕事まっぴらじや」と言って逃げだしてしまいました。

親方のもとを逃げ出したもくべいは、逃げる途中で和尚さんに書を書いてもらったというおじいさんに出くわしました。「和尚さんにちよこつと書いてもらったもんがそんなに有難いのかい?」もくべいの問いに、おじいさんは「有難いよ、座敷は引立つし、何より和尚さんの徳にあやかれるってもんじや〜」と答えました。

「徳にあやかれるんじやったら俺も書いてもらうべえ、けど何か持っていかなければなあ〜」というもくべいに、おじいさんは「和尚さんは山芋が大好きじやよ!」と教えてくれました。

次の日の朝早く山芋を掘りに出掛けたもくべいは「和尚さんの徳にあやかれば、人にチヤホヤされるんだ!」と一所懸命に掘りました。

やがて日が暮れ始めたので、掘り出した沢山の山芋を担いで、もくべいはお寺に向かいました。ところがお寺の前まで来て「おれは朝から晩まで山芋を掘って苦労したのに、和尚さんは少しの時間ちよこつと書くだけなんて、俺は馬鹿らしくなってきた」と思い直し、掘り出した沢山の山芋のうち、三本だけを持って行くことにしたのです。

「山芋を朝から晩まで掘ってきました。俺にも何か一筆書いて下さいな!」そういうもくべいに、和尚さんは「お前みたいな若い者が朝から晩まで山芋を掘って、三本しかないって言うのはおかしな事じや!」と言うと、もくべいは「苦労して朝から晩まで掘ったのに、和尚さんは少しの時間ちよこつと書くだけだから馬鹿らしくなっていました!」と悪びれることもなく答えました。

これを聞いた和尚さんは「ちよこつとちよこい!」ともくべいを書齋へと案内しました。書齋には床から天井まで山の様に積み上げられた沢山の紙がありました。

「これは、私が稽古に使った紙じや! 六十年、今でも稽古しとる。まして一日も筆を取らなかつた日はない! お前にちよこつと書くにもこれだけ稽古しとるよ!」

もくべいは自分のしたことが恥ずかしくなりました。このことがあって以来、もくべいは一所懸命に修行を重ね、腕の良い植木職人になりました。

このお話の要は、長い間の積み重ね、下積みがあつて今がある、という事です。

もくべいのように「誰だって楽しんで金もうけしたいわ!」と言って逃げ出す人が多い世の中。

しかし、一見皆がうらやましいと思う生



活をしている人も、長い間苦労してきているのです。ましてやそういう人達でも悩みや辛い事は必ずあつて、順風満帆に生きてきた人はいないでしょう。

また、どんなに努力や精進を重ねても、なかなか結果を出せない人も居られることでしょう。だからこそ、人は結果の出せないその時にこそ、どう在るべきかが大切なのです。

日蓮大聖人様は、「あるいは火の如く信する人もあり、あるいは水の如く信する人もあり、まことの信とは水の如くの信仰なり」とお示し下さいました。

もくべいのように和尚さんの徳にあやかりたいと、その時ばかり一所懸命に行動する、これは火の如くの信仰であり、和尚さんのように長い期間稽古を続ける事が水の如くの信仰なのです。たとえ結果は悪くとも「投げ出さない、逃げ出さない」事が大切なのであり、その先にこそ成功や成就というものがあるのです。

私にも皆さんにも、必ず悩みや辛い事はあります。その時の為にこそ九識靈断法があるのです。お題目の信仰は私達にとつて何事にも代え難い生活の糧。

水の如くの信仰をいつも持ちながら、たとえ小さな善行でも続けていけば、やがては深く広い功德の海へと繋がって行くことでしょう。

本誌イラスト 小川けんいち

砥森山 法華寺

生きて救われの道場

住職 阿部 是秀
副住職 阿部 是眞

〒028-0304
岩手県遠野市宮守町下宮守31-69-1
電話 0198-67-3166
FAX 0198-67-2227

正立山 妙法寺番神聖徒団

団長 新聞 信應

毎月1日 10時
盛運祈願祭

お困り事はすぐ相談

神秘秘密の扉が開く時、必ず利益がいただける。

〒690-2404 島根県雲南市
三刀屋町三刀屋1169
TEL 0854-45-3657
FAX 0854-45-3666

安房乃國随一
三十番神祈願道場

顕本寺聖徒団
団長 小泉 輝泰

「1人で悩まず、まずは相談」
〒295-0002
千葉県南房総市千倉町川合690-1
TEL 0470-44-1062
FAX 0470-44-1524

信用第一の専門店

◇格調高い関東風仏具◇

宗務院指定

仏壇・仏具 仏像彫刻
内陣荘厳具 設計製作

(株)中野三佛屋

東京都台東区寿2丁目7の12
電話 03 (3843) 6951
FAX 03 (3843) 6973
定休日 日曜日

北海道運輸局長
認証工場(第4-1095号)です!

お車のことなら
どんなことでも!!

車買取のE-ス
T.0166-34-3606

(有)キクチ自動車
〒078-8346
北海道旭川市東光6条6丁目190-100
TEL/FAX 0166-34-3606